

ブラジルで透析クリニック事業に参入 —南米透析装置事業の飛躍的拡大に向けて—

株式会社G S I クレオス（東京都千代田区／代表取締役社長 吉永直明 以下当社）は、ブラジルにおいて、富裕層を対象とした病院（透析クリニック等）運営で豊富な実績を有する現地企業 Palalua Participações Ltda (以下 PPL) と共同で Palalua-GSI Holding Participações S.A. (以下 PGHP) を設立しました。これにより、透析市場への関与を高め、南米における透析装置販売事業のさらなる拡大に取り組んでまいります。

※当社は、米州の現地法人であるG S I ホールディング社（アメリカ）ならびにG S I ブラジル社を通じてPGHPに出資。

PGHPは持株会社であり、同社が今後その傘下に設立する複数の透析クリニックを活用して、当社が南米市場で販売する人工透析装置および関連商材の認知度を高め、透析装置事業を飛躍的に拡大してまいります（2020年度売上目標：約10億円）。最新技術を持つ透析クリニックの展開で高い評価を得ているPPLと、最高水準の性能を誇る透析装置を提供する当社との協働により、近年、南米地域で急速に高まっている、高度な透析治療のニーズにお応えすることがこのたびの出資の目的です。

当社は、2015年にブラジルにおける透析装置事業に参入しました。参入当初から一貫して、東レ・メディカル株式会社製透析装置の輸入販売を行っており、現在は取り扱い商材に消耗品を加え、南米全域での拡販に取り組んでいます（これまでの透析装置の販売実績：約1,000台）。

PGHPは、主に「On-Line HDF」というブラジル国内においては最先端の治療法を導入したクリニックを設立します。また、新たなクリニックには、当社が取り扱う透析装置と関連商材をはじめとする最新鋭の設備等を設置し、これら設備のショールームとしても活用いたします。



新規設立クリニックのイメージ

<新規設立予定のクリニックについて>

- ・サンパウロ州 サントス （14床規模 初期予定患者数49名 2020年初旬設立予定）
- ・サンパウロ州 ゴナ レステ（20床規模 初期予定患者数60名 2020年初旬設立予定）

【Palalua-GSI Holding Participações S.A. (PGHP)の概要】

所在地	Rua Professor Carlos de Carvalho, n.º 54, apto. 141, Bairro Itaim Bibi, São Paulo
代表者	Antonio Luiz Junqueira de Almeida (President)
資本金	10,612,243 レアル
設立日	2019年10月15日

以 上

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社G S I クレオス 経営企画部 企画広報課 Tel 03-5211-1802 谷村、小野